



報告：医学系研究科疾患生命工学センター 特任講師 大庭 伸介

CMSI Students Seminar 司会：大庭伸介
医学系研究科疾患生命工学センター 特任講師

2011年9月30日(金)、米国ハーバード大学より Lick Pui Lai 博士をアドバイザーとして招き、医学部一号館 N210 にて CMSI Student Seminar が開催された。本セミナーは 2008年7月より実施されているグローバル COE プログラム「学融合に基づく医療システムイノベーション (CMSI)」(拠点リーダー：片岡一則教授) の一環として企画・開催されている。

Lick Pui Lai 博士が骨軟骨生物学および Liver Kinase b1 (Lkb1) を御専門とすることから、それらの分野に関係した研究を行う 6名の学生・ポスドクから自身の研究内容に関する口頭による発表(英語)が行われた。医学博士課程 1-2年の学生は 15分、課程 4年学生及びポスドクには 30分の時間が与えられた。各発表に続いて、Lai 博士よりの的確なコメント・質問が寄せられたほか、発表者からは日ごろから自分の研究に関して持っている疑問、あるいは今後の進め方に関する質問が行われ、双方向性の非常に活発な議論となった。ともすれば日々の実験・授業・セミナーに追われて考えることを後回しにしがちな学生にとっては、非常に有意義な時間であったと思われる。また、第一線にいる研究者と英語で議論を行う機会は貴重であり、英語による研究発表が初めての者もいたことから、今後の国際学会での発表につながるものであった。この経験が、国際発信力が高く視野の広い研究者となる一助になることが期待される。

最後に、セミナーの発表準備などご尽力頂いた多くの方々に感謝を申し上げます。